

## 日清製粉グループ 第1四半期連結決算、通期連結業績予想

**第1四半期は売上高1,149億36百万円、経常利益64億52百万円。  
通期業績予想は当初予想通り。**

### **[平成21年3月期第1四半期連結決算]**

株式会社日清製粉グループ本社（社長 村上 一平）の平成21年3月期第1四半期につきましては、本年4月の輸入小麦の政府売渡価格30%引上げなど原材料価格高騰や原油高の影響により調達コストの上昇が継続する中、新製品の開発・発売、当社グループ製品の需要喚起のための広告宣伝活動の積極的な推進など売上げ拡大施策の実施とコスト削減に努めてまいりました。また、調達コストの大幅な上昇は内部努力で吸収できるレベルを超えているため、価格改定を実施いたしました。

この結果、第1四半期の業績は、売上高は1,149億36百万円となりました。利益面では、平成18年度、平成19年度に調達コストの上昇に対して価格改定が遅れ利益が悪化した食品事業の業績回復により、営業利益は51億98百万円、経常利益は64億52百万円、四半期純利益は33億2百万円と順調に推移しました。

### **[平成21年3月期通期連結業績予想]**

第1四半期の業績は順調に推移いたしましたが、第2四半期業績予想、通期業績予想につきましては、製粉、食品事業の主力製品において業界全体の出荷が前年を下回る状況となり、また原油高等の更なるコストアップも見込まれるなど事業を取り巻く環境は先行き不透明感を増していることから、当初予想通りとしております。

当社グループにおきましては、全ての領域にわたりコスト削減を更に進めていくとともに、販売面においては継続して広告宣伝活動の強化、付加価値製品の出荷伸長に注力してまいります。更に、海外事業をはじめとする成長領域へ経営資源を投入し、新市場開拓も積極化させていきます。

以上より平成21年3月期の連結業績予想につきましては、5月公表の予想通り、売上高は4,750億円（前期比110.0%）、営業利益は195億円（前期比101.6%）、経常利益は222億円（前期比100.1%）、当期純利益は125億円（前期比112.1%）としております。

以上